

第2期津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標の評価及び今後の取組の方向性

基本目標① 出会い・結婚・出産・子育てしやすい環境づくり

津市に住み、結婚したい、子どもを産みたい、子どもを育てたいと思う人たちの希望がかなう環境づくりを進めます。

[illegible]

基本目標② 産業振興、企業立地等による安定した雇用の創出・拡大

津市で家庭を持ち、安定した暮らしをしたいという人の希望をかなえるために必要となる雇用の創出・拡大を図ります。

数値目標	計画策定時 (H30年度)	目標値 (R6年度)	実績値					
			(参考) R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
従業員数 (雇用保険被保険者数)	91,653人／年	95,200人／年	92,294人／年	91,191人／年	91,141人／年	90,622人／年	人／年	人／年
評価と今後の取組の方向性	令和元年度までは、緩やかな景気回復基調を受けた全国的な雇用の拡大によって雇用保険被保険者数は増加傾向にあったが、令和2年度はハローワーク津管内で雇用保険適用事業所であった企業が組織変更に伴い事務手続が他県に移管された影響もあり、雇用保険被保険者数が大幅に減少した。その後、雇用保険被保険者数は前年度比で微減が続き、令和4年度は90,622人（前年度比▲19人（▲0.57%）、目標比▲4,578人）となった。 今後も引き続き雇用創出を図るための産業振興や創業支援等、持続可能な地域経済を維持していくための事業承継支援をさらに進めるとともに、物価高騰等の影響を受ける事業者等への支援にも取り組む。							

基本目標③ 定住・還流・移住などによる新たなひとの流れの創出

津市への定住や移住、交流といった観点からの、津市への新たなひとの流れの創出を図ります。

数値目標	計画策定時 (H30年度)	目標値 (R 6年度)	実績値					
			(参考) R 1年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
転入超過数 (転入数－転出数)	1人／年	100人／年	87人／年	▲386人／年	▲13人／年	384人／年	人／年	人／年
評価と今後の取組の 方向性	令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外国人の転入者数が減少したこともあり、全体として転出超過となったが、令和4年度は転入者数、転出者数ともにコロナ禍前に近い水準まで回復し、転入超過数は384人（前年度比+397人、目標比+284人）となった。日本人の移動に着目すると、令和3年度と比較して転出超過数が増加しており、依然として20～29歳の階級の県外への転出超過が多いという傾向となっているが、コロナ禍前の令和元年度ほど多くはなっておらず、令和2年度に近い状況となっている。 今後も引き続き転入促進や転出抑制を図るため、新たな企業誘致に向けた取組を進めるとともに魅力ある地元企業や子育て環境に関する情報を積極的に発信し、認知度を高めることに加え、企業と求職のマッチングなど就職（転職）のタイミングでの転入促進に係る支援をさらに進める。							

基本目標④ 人と人が繋がった暮らしやすい地域づくり

地域に暮らす人たちが明るい将来を思い描き、互いに支え合い、笑顔があふれる地域づくりを進めます。

[illegible]